

令和2年7月22日 自治会長会 質疑応答及び結果

- ・社協会費の趣旨を知りたい。住民の声を聞かず強制徴収になっていないか。母子家庭も増えており、社協以外にも色々な募金があるので、1世帯あたり数千円になっている。金額は500円ではいかがか。
⇒北栄町民が安心して暮らせる、福祉事業に活用している。強制ではない。あくまでも趣旨に賛同いただいた方から協力してもらっている。自治体の大小に関係なくある程度の財源がないと地域福祉の活動ができないので、ご理解いただき、可能な限り協力してもらいたい。母子家庭・生活保護の世帯については、自治会で調整してもらって可能な限り協力してほしい。
- ・子供が道路をスケーターで走っていて危険。指導してほしい。
⇒夏休みに入る前に、子供たち・保護者へ指導している。地域の方々からも、注意してもらいたい。
- ・町に対する要望の提出が時期・期限を遅くらせてほしい。総会が毎年1月の第2日曜日に開催しているため、1月9日で早い。
⇒取りまとめ後の当初予算のスケジュールがあるため、このままスケジュールは守ってほしい。提出は自治会の総会后でもかまわない。次回、11月の自治会長会でスケジュールを示す。
- ・最近豪雨災害が多くなっているが、近々、山陰で豪雨があり天神川が氾濫するのではないか。その場合は、家が水没し、災害時はケータイが繋がらないと考えられるので、役場と自治会が直接連絡を取れるような仕組みを作ってほしい。可能であれば、自治会に負担がかからないように、避難場所への誘導などができるようなものを整えてほしい。そうすると、町民も安心して避難ができる。
⇒大きな地震、災害が起こった時、役場も自衛隊もすぐに対応することは難しい。自分の身は自分で守ることが大切で、町の対応には限界があり期待してもらうことはできない。自治会で避難訓練を行い、訓練を積んでほしい。そのために自主防災組織もある。国交省や気象庁から情報が多く入ってくるので、逐次、防災無線で放送する。放送をしっかりと聞いてもらい、避難してほしい。また、防災士を12名要請している。地域の中で、リーダーシップを発揮してほしい。早め早めに避難勧告や指示も出していく。空振りの可能性もあるが、従っていただいて、安全に避難してほしい。

- ・防災無線は停電時も使えるか。外のスピーカーも使えるか。
⇒無線機に電池が入っているので、使える。外のスピーカーも使える。
- ・ジャンボタニシの退治法について、長靴で踏みつけるとあるが数が多い。私も踏んだが、その後放置すると異臭がする。衛生上問題はないのか。
⇒卵がピンク色のうちは、水没させると死滅するが、白くなると肺呼吸に加えてエラ呼吸をするので死なない。ピンク色のうちに退治することが適切。側溝で木の棒のなどを使って、潰して水没させるか、長靴で踏んでもらう。ゴミ収集へ出してもらうところまでお願いしたいが、そこまではしない。
- ・ジャンボタニシは踏んだ後、燃えるゴミで出してもいいのか。
⇒燃えるゴミに出すという扱いか方法はないのではないか。だが、燃やした時に有害なものが発生するかということにはわからないので、調査する。